

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2-5-16
評価実施期間： 令和5年9月20日から令和6年2月22日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 050282 B16024	

2 福祉サービス事業者情報（令和5年 11月現在）

事業所名： （施設名）小諸市立南保育園	種別：保育所	
代表者氏名： 市長 小泉俊博 （管理者氏名）園長 塩川英子	定員（利用人数）：150（103）名	
設置主体： 小諸市 経営主体： 小諸市	開設（指定）年月日： 昭和43年4月1日	
所在地：〒384-0808 小諸市大字御影新田1265-1		
電話番号：0267-22-2090	FAX番号：0267-22-2090	
電子メールアドレス：kikusei@city.komoro.nagano.jp		
ホームページアドレス：https://www.city.komoro.lg.jp/		
職員数	常勤職員： 23名 業務委託員 4名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 22名	調理員 4名
	栄養士 1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室 3室	トイレ 4カ所
	ほふく室 1室	屋外遊戯場 園庭 1カ所
	保育室 6室	四連ブランコ 2台、2連ブランコ 1台
	調理室 1室	複数すべりだい1台、すべり台小 1台
	事務室 1室	のぼり棒 1基、ジャングルジム1基
	遊戯室 1室	砂場 2カ所、タイヤ飛び
		雲梯 1台、たいこばし 1基
	三連鉄棒 1基	

3 理念・基本方針

保育理念

子どもの実態や、子どもを取り巻く環境、卒園後の育ちの見通し、保護者の意向、保育者の願いに基づき、豊かに伸びていく可能性を秘めた子どもが、現在を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、保育を進めます。

保育園の願い

- ・豊かな自然の下、保育士との安定した関わりの中で、子ども達が安心して自分を出し、夢中になって遊ぶ。
- ・大勢の友達に中で育ちあいながら、心身共に健やかに成長することを願う。

小諸市保育目標

- ・自分を好きになれる子ども
- ・やりたいことをやれる子ども
- ・たくましい心豊かな子ども

南保育園目標

- ・やりたいことを自分でできる子ども
- ・あいさつのできる子ども
- ・食べることを楽しむ子ども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

小諸市立南保育園は昭和43年4月1日に開設し、平成16年3月9日現在の所在地に移転新築した。小諸市郊外の農村部にある大規模園である。雄大な浅間山をバックに、園舎の裏側には電車が見え、散歩コースがいくつかある。子ども達は、大勢の中で切磋琢磨し、育ち合うことで何事にも意欲的に取り組もうとする姿が見られる。地域のお年寄りや、未就学児との交流があり、地域とのかかわりも深い。また途中入所が多い。

小諸市では、子ども達の健やかでたくましい成長と生涯にわたって学び続ける社会の実現に向けて、教育の基本理念として「梅花教育」が据えられている。梅花教育は「厳しい風雪に耐えてこそ香高い梅の花が咲く」という漢詩の一節を元とし、「様々な経験を積み重ねることで、自分の考えで行動する人を育てていく」ということを示している。この梅花教育の理念のもと、梅の木の根っこにあたる乳幼児期の保育が、今後の子どもの教育にとって重要な意味を持っていると考えている。

南保育園では、梅花教育を基本に、梅の五片の花びらにちなみ「梅花のはなびら」として5つのプロジェクト①タイを豊に大きく育てる②楽しく体を使って運動あそび③愛の言霊（愛メッセージ読みきかせ）④音楽のまちこもろ（みんなで歌おう！）⑤食育（楽しくおいしく食べて生きる力を育てよう）を掲げ実施している。

特徴的な取り組みでは、全員での「朝の運動遊び」や子ども達の「やりたい」、保育者の「共に楽しみたい」を取り入れた全天候型の保育を実践している。今年は特に広い園庭を使った「Dram Go Round」ではバーベキューのキャンプベース、ジャングルクルーズ、あわあわアイス屋さん等、それぞれ各組が保育指導案を作成し、取り組んでいた。令和3年度の長野県保育研究大会では「ワールドバザールINみなみ」の活動として色水でのジュース作りフェスティバル、昆虫探しのミュージアム、牛乳パックの手作りおもちゃなどで楽しむ取組等を発表している。また、プール活動の新しい形としてプールとプールサイドを利用し宝石すくいやタライ船等様々な水遊びコーナーを作り、子ども達が水と触れ合って遊ぶ「ウォーターワールド」環境を作っている。ユニークな取組みでは、廊下の窓ガラスに貼られた動物の絵の目等から普段の保育室の中の様子をのぞき見できる「壁の穴参観」がある。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	0回（今回初受審）
---------------	-----------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

①行事を楽しく企画し、保育園全体で「やりたいことを自分でできる」保育を実践している。

南保育園では、子ども達の「やりたい」、保育者の「共に楽しみたい」を取り入れた生活発表会等の様々な行事を園全体で楽しく企画し実践している。特に全天候型の保育として今年、「Dram Go Round」を園全体で行う総合的なリゾートのような取組を7月に実施した。クラス毎にさまざまな指導案を作成し、マラソンや体操から始まり、「キャンプベースで遊ぼう」「ジャングルばらクルーズで遊ぼう」「うーめいドラグーン」「あわあわぷくぷくアイス屋さんごっこ」等、さまざまなアイデアで楽しい企画をたて「保育理念や南保育園目標に沿った「やりたいことを自分でできる」保育を総合的に実践している。

②「タイを大きく育てる」としてチャレンジできる保育を実践しており特に良い点として評価できる。

「梅花のはなびら」にちなんだプロジェクトの一つとして「タイを大きく育てる」がある。具体的には、子ども一人ひとりが「パスポート」を持ち、挑戦しクリアできると好きなスタンプを自分で押す取組をしている。「チャレンジマスターLet's Go!」として毎日違うミッションに挑戦したり、夏は「めざせ！ウォーターマスター」として様々なチャレンジをする度にスタンプを押して、卒園時には分厚い「パスポート」として渡され成長の証であり、宝物となる取組を行っている。子どものやる気を引き出し、達成感や自己肯定感につながる良い取組である。

③改善の取組を継続的に行っている。

小諸市では、「小諸市防犯カメラの設置及び運用に関する規則」を制定し、子どもが被害に遭う事件が各地で相次ぐ中、防犯をカメラ設置する方針が示され、令和5年11月に防犯カメラが設置された。利用者アンケートでも安心・安全に対する関心は高く、改善の取組みとして評価できる。今後はプライバシーにも配慮した運用をお願いしたい。また、保育園の運営では、専門のソフトウェアを利用した業務に移行途中である。ソフトウェアを利用することで、業務の標準化や効率化につながり職員の業務の軽減につながる。様々な改善に対する取組みを積極的に継続して行っており、特に良い点として評価できる。

◇特に改善する必要があると思う点

①安心、安全の全体的な取り組みについて定期的な見直し

子どもの安心、安全な取り組みでは、非常災害時の対策として月1回の火災想定や引渡し等の避難訓練が実施されている。また、食物アレルギー対応や衛生管理も適正に維持管理している。利用者アンケートにあるように保護者の安心、安全の関心は高く要望が多い項目である。危機対応要領を定め、さまざま危機管理に取り組んでいるが改善点や見直す事項はないかさまざまな観点から定期的に検討することを推奨する。具体的には、新省令に基づく安全計画を参考にマニュアルの見直し時期の明示、安全計画を保護者に知らせるための玄関への掲示やおたよりでの周知、散歩コースの定期点検、近くの道路や散歩に通る道路について道路管理者とゾーン30やキッズゾーンの検討、BCP（事業継続化計画）の検討、他の組織と実施する発電機の非常時訓練等の緊急対応について継続した取組みを期待する。

②業務負担軽減の取り組み

保育の現場・職業の魅力向上には、保育士にとって生涯働ける魅力ある職場づくりを行うことが不可欠である。そのためには、園長が組織運営のためのマネジメント力を向上させ、職員と業務負担の軽減や働き方の見直しなどについて話し合い、保育士として働くことの魅力とやりがいを感じられる勤務環境にしていくことが求められている。正規職員以外に会計年度任用職員として担任補助や代替の職員を充実させている点は評価できる。業務負担の軽減では、保育士が子どもたちから離れ、事務作業などを行うことに専念するノンコンタクトタイムの確保による働き方の見直し、保育の現場における計画・記録など保育士の書類作成業務の見直しや保育補助者の活用、パソコン、タブレットやスマートフォンを活用したICTを周辺業務に活用しているのも更に推進した取組みで業務の軽減に繋がることを期待する。

③園の取組みを積極的に周知

南保育園の方針や目標は保護者になると周知されるが、将来の入園者の保護者やこれから移住することを検討するなど広い利害関係者にとっては知る情報の公開が少ない。園の様々な取組みについては、プライバシーに配慮しホームページ等で積極的に周知することを期待する。また、広い園庭や自然環境に恵まれ、散歩コースも多く、100種類以上の昆虫の写真を撮って名前を調べる取組や、アサギマダラの観察など生物の多様性を感じ取れる保育を行っている。これらの取組みは自然保育として優れているので「信州やまほいく（信州型自然保育）」の認定を受け、ポータルサイトを通じこれらの取組みを広く周知することを期待する。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

（令和6年2月19日記載）

その節は大変お世話になりました。

担当者の皆様には、丁寧に調査していただきありがとうございました。

南保育園は、初めて第三者評価を受けました。不安もありましたが、わが園の良い面に気づくことができたり、改善する面等ご指導していただいたり、また他市町村での工夫やアイデアなど、たくさんのアドバイスをいただいたことで、南保育園の発展につなげて行けたらと考えております。

そして、結果を受けて、これからも前向きに、職員、子どもそして保護者と共に「南保育園が大好き！」「南保育園最高！」と選んでもらえる保育園を目指していきたいと思っております。

本当にありがとうございました。